

No.010 (復刻版) *****

腐食センターニュース

*****平成8年3月1日

第2回 金属腐食 Q&A in 沖縄

沖縄支部・当センター共催の標記腐食事例検討会（第11回当センターパフォーマンス研究会を兼ねる）は3月8日（金）14:00～17:00 琉球大学工学部大学院棟 111 教室で開かれ、事例・質問の提出・聴講者29名と回答講師団9名が参加した。支部長糸村昌裕琉球大教授の挨拶の後、以下11件の質問・事例の検討が行なわれた。

- 塩素注入用配管 SUS304 鋼管の割れ (Q1)
- ボイラー用水タンク側板の割れ (Q2)
- コンクリートのひび割れおよび内部鋼材の腐食 (Q3)
- 海水による圧送用配管の腐食 (Q4)
- 防食施行箇所の補修方法 (Q5)
- 熱炭酸カリ中 SUS304L 鋼管の線状腐食 (Q6)
- 海上浮体構造物へのガス供給配管の防食対策 (Q7)
- 船舶用銅製潤滑油クーラーのエロージョン・コロージョン (Q8)
- ステンレスボルトの破断 (Q9)
- ステンレスライナー取付用皿ボルトの腐食 (Q10)
- 海水系 SUS316L 管のピンホール (Q11)

今回は2年前の第1回（1994年3月8日）に比較してより専門的で難しいテーマが多く、同様に熱心なやりとりが続いた。本州より駆けつけて下さった講師の方々：

明石正恒（IHI）、石本裕保（出光エネジ）、今井八郎（芝浦工大）、梶山文夫（東京ガス）、酒井潤一（鋼管計測）、佐々木英次（物質工学工技研）、滝沢責久男（三洋電機）、辻川茂男（東大）、宮田恵守（NTT）、の諸氏に心よりお礼申し上げます。

(S. T.)